



# Y ICHITOKU

川越市立特別支援学校 学校だより

令和 7 年 6 月 2 日発行 第 3 号

学校教育目標『ひとりだちする生徒』

TEL049-222-2753 Fax049-229-1231

## いよいよ始まる 産業現場等における実習

校長 肥留間 智子

例年に比べて、過ごしやすい日が多かった5月でした。毎朝のラジオ体操、5分間走、そして今年度から体育祭で取り組む「ソーラン節」の振り付け練習では、爽やかな朝に身体を大きく動かし、一日の始まりを気持ちよくスタートさせています。また、今年度から朝読書と日替わりで、プリント学習による自立活動を行っています。生徒が楽しく意欲的に取り組める課題を与え、個別の自立活動の授業にもつなげていく予定です。

保護者の皆様におかれましては、個人面談や引き渡し訓練・保護者会など、お忙しい中ご来校いただきありがとうございます。これからもご家庭と学校との対話を大切に、生徒一人一人に寄り添った支援、指導を行いたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

さて、6月は、2年生、3年生の産業現場等における実習が行われます。現場実習の取組においては、右記の流れで行っており、個々の生徒の実態に応じて取り組み方は異なりますが、「予告」「報告」については、活動の重点として行っています。本校の生徒たちが実習先で課題だとか指摘を受けることが多いのが「コミュニケーション力」です。毎日の生活の中から課題の改善、克服を意識した活動を行うことができるように、学びの場面を数多く設定しています。今回の現場実習では、個々の課題に対してどのような学びを体験し成長を遂げて戻ってくるのか、今からとても楽しみです。

1年生は、事業所見学、作業所体験、川越めぐりと就労に関連する体験学習を特別日課で行います。自分の得意不得意を知り「ひとりだち」への初めの一歩が踏み出せると思います。

### <現場実習の取組の流れ>

- ① 希望確認アンケート
- ② 実習先候補の決定
- ③の予告
- ③ 実習の打ち合わせ(面接)
- ③の報告
- ④の予告
- ④ 通勤練習
- ④の報告
- ⑤ 保護者会実習打ち合わせ
- ⑥ 事前学習
- ⑦の予告
- ⑦ 現場実習  
(初回・巡回・反省会)
- ⑦の報告
- ⑧ 事後学習
- ⑨ 進路アンケート

5月29日の講話朝会では、ヨシタケシンスケさんの「かみはこんなにくちゃくちゃだけど」という絵本の読み聞かせをしました。絵も文(文字)も素敵なので、スライドに大きく映して、生徒たちに見せて読みました。

日頃、自分に自信がなく「いやなこと」や「悲しいこと」ばかりを気にして、前向きに取り組むことができないということがあります。この絵本のお話には、そんな「いやなこと」や「悲しいこと」がたくさん出てきますが、「いいこと」や「嬉しいこと」もたくさん出てきます。「いいこと」や「嬉しいこと」は、毎日の当たり前と思っていた中にあり、小さな出来事でも人によってはとても大きな意味を持つものでもあります。私たちも「いいこと」や「嬉しいこと」をたくさん見つけて楽しく生活できる方が、ずっと幸せを感じて生きていくことができます。ヨシタケシンスケさんの「頭のいい人、かしこい人とは、自分の身に起こるすべてを自分の力にかえらる人」「悪いことだってあるかもしれないけれど、いいことだっていっぱいあるはずなんだ」という言葉も紹介しました。生徒たちの心の中に響いてくれると嬉しいです。

